

留学体験記

法学部法律学科 3年 2202118 美坂凜人

私が留学を決めた理由は、異文化に強い関心があり、特に留学での学びを通じて視野を広げたいと考えたからである。文藻外語大学は中でも、留学生の数が多く、さらに留学費用が他の交換留学先より比較的安く魅力的な環境が整っていると感じたため、文藻外語大学への留学を決めました。

文藻外語大学は語学教育に特化した大学であり、多国籍な学生が集まる場でした。授業では中国語だけでなく、英語や他の外国語を学ぶ機会も多く、国際的な環境の中で自分の語学力を鍛えることができた。また、本科生との授業と留学生用の中国語の授業を受けた。大学の授業では前期後期合わせて10個の授業を受講した。その中でも印象的だったものは、日本語学科の学生と受けるメディアジャパニーズという科目である。この授業は、主にグループワークであり、実際に観光地に行って Youtuber として編集までする期末テストを行う。台湾の学生の家や観光地で動画を撮影して編集を何日もかけてしたことはとても良い思い出だ。中国語の授業は毎日あり、レベルごとにクラスが分けられ自分にあったレベルで学習ができ、文法や会話などを学びました。クラスは日本人の他に韓国人、フランス人、アメリカ人等国際色豊かで、ディスカッションなども多く行われ文化や思想の違いで驚きがいっぱいでした。

休日には高雄の観光地にも行き、学校のイベントなどにも参加しました。留学生のためのイベントもあり、日本では感じられない空気や、異国の地の文化を日々感じられ刺激的な毎日で費用を抑えながら充実した留学生活を過ごすことができました。

文藻外語大学での1年間留学生活にはたくさんの苦労もありました。異国での生活に慣れるまでに時間がかかり、たくさんの挫折を経験しました。そして、その困難を乗り越える過程で自分自身の強さと柔軟性を知ることができ、成長を実感しました。また、異文化での課題解決力も磨かれ、どんな環境でも適応できる自信ができました。この体験は私にとって非常に貴重で、異文化理解を深めるだけでなく、自分自身の成長を実感することができるものでした。この1年を通して、私の視野は大きく広がりました。台湾での、この経験を今後のキャリアや人間関係にも生かしていきたいと強く思っています。

